

2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月15日

上場会社名 株式会社買取王国 上場取引所 東
コード番号 3181 URL https://www.okoku.jp
代表者（役職名） 代表取締役会長（氏名） 長谷川 和夫
問合せ先責任者（役職名） 経理財務部長（氏名） 陳 美華（TEL）052-304-7851
半期報告書提出予定日 2024年10月15日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有（当社のホームページに掲載します）
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	3,501	8.8	193	△14.0	200	△16.0	151	△0.3
2024年2月期中間期	3,217	16.3	224	35.6	238	31.2	152	37.2

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	41.74	—
2024年2月期中間期	42.06	—

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期中間期	5,155	2,886	2,886	56.0	789.99	
2024年2月期	4,446	2,751	2,751	61.9	757.45	

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 2,886百万円 2024年2月期 2,751百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,701	14.3	403	△18.5	429	△17.9	307	△14.7	84.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日（2024年10月15日）に公表いたしました「2025年2月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期中間期	3,664,050株	2024年2月期	3,640,100株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	10,402株	2024年2月期	7,802株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年2月期中間期	3,637,827株	2024年2月期中間期	3,622,369株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間財務諸表キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(収益認識関係)	8
(セグメント情報)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、コロナ禍を乗り越え、徐々に経済社会活動の正常化が進み、海外からの来訪客も増え、コロナ危機前の水準を回復してきたものの、長期化したウクライナや中東情勢、中国の景気後退、日本・アメリカの政局の不安、為替レートの乱高下及び物価高騰、人手不足などの影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

リユース小売業界におきましては、物価高騰という観点においての生活防衛、またSDGs・ESG等がクローズアップされたことによる循環経済への関心の高まり等により、フォローの風が吹いておりますが、人件費上昇、店舗運営費用の高騰などで厳しい環境が続いております。

このような外部環境に対応するために、当社はさまざまな取組みを進めてまいりました。

商品政策においては、法人買取、宅配買取、海外仕入など商品調達ルートを増やし、全体の商品調達力を高める取組みをしております。

国内での三次流通を可能にしたマイシュウサガール業態を活かして、資源の有効活用を実現できたため、本格的に「とことん買取」を推進し、「とことんカイトリ宣言」をしております。これらの取組みを通して、同業他社などの提携先が増えまして、在庫の売り買いを含め様々な交流が活発となっております。

店舗政策においては、店舗開発部門が、業態ごとの出店方針等を勘案しながら、精力的に開発活動を展開してまいりました。

総合リユースショップ買取王国業態に関して、2024年3月1日に、買取王国岐南店(岐阜県岐南町)のオープンに続き、2024年4月19日に、買取王国松原店(大阪府松原市)をグランドオープンいたしました。計画通りに、上半期で2店舗の出店が完了しております。

工具買取王国業態に関して、2024年3月16日に、工具買取王国大津店(滋賀県大津市)を、2024年6月1日に、工具買取王国高岡店(富山県高岡市)を、2024年8月2日に、工具買取王国鳴海店(名古屋市長区)を、2024年9月28日に、工具買取王国松原天美店(大阪府松原市)をグランドオープンいたしました。直営5店舗の出店計画を順調に進めております。

その他に、「とことん買取」に合わせて2024年6月21日に、マイシュウサガール業態のマイシュウサガール春日井店(愛知県春日井市)をグランドオープンいたしました。

積極的な出店に加えまして、2024年8月31日に総合リユースショップ良品買取事業の9店舗及びプロ工具専門店ツールマン事業の1店舗を譲受いたしましたことで、当社の事業基盤を大きく拡大してまいりました。

業務効率化においては、顧客満足度の向上及び全社の業務効率化を同時に満たせる新しいPOSシステムの開発も終盤に入り、順次導入をスタートできるようになっております。バックヤードの標準化などを合わせて、店頭業務の効率アップを目指しております。同時に、効率化できる仕組みづくりも推進しております。先般オープンしたマイシュウサガール春日井店では、今まで現場でやっていた仕分け・値付け作業を物流倉庫で行い、店頭作業の単純化を通して、生産性を高める実験を始めております。

売上高については、出店等による事業基盤の拡大、また既存売場の充実により主要商材のファッション・ホビー・工具とも順調に伸ばし、相場の影響で大きく落ち込んだトレカの売上をカバーし、前年同期を上回りました。売上構成の変化に伴い、粗利率の改善が見られました。

利益ベースについては、出店コストや人件費増加で販売費及び一般管理費は大きく膨らんで利益を圧迫しておりますが、事業基盤の拡大が今後の事業収益向上に繋がっております。特別利益としては、2024年3月21日に、工具買取王国堺浜寺26号店(大阪府堺市)をフランチャイジーに転換した際の営業権譲渡益です。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は3,501百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益は193百万円(同14.0%減)、経常利益は200百万円(同16.0%減)、中間純利益は151百万円(同0.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて501百万円増加し、3,521百万円となりました。これは、現金及び預金が141百万円、売掛金が36百万円、商品が278百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて206百万円増加し、1,633百万円となりました。これは、有形固定資産が65百

万円、投資その他の資産が127百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ708百万円増加し5,155百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて31百万円増加し、998百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が4百万円増加、買掛金が4百万円、賞与引当金が5百万円増加した一方、未払法人税等が8百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて541百万円増加し、1,270百万円となりました。これは、長期借入金が448百万円、資産除去債務が25百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ573百万円増加し2,268百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて135百万円増加し、2,886百万円となりました。これは、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により資本金が9百万円、資本剰余金が9百万円、中間純利益により利益剰余金が151百万円増加した一方、配当金の支払により利益剰余金が36百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末と比べて8百万円減少し、1,256百万円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は124百万円(前年同期は71百万円の収入)となりました。これは主に、税引前中間純利益224百万円、減価償却費37百万円の計上により資金が増加した一方、棚卸資産の増加額105百万円、法人税等の支払額80百万円により資金が減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は540百万円(前年同期は47百万円の支出)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出150百万円、有形固定資産の取得による支出118百万円、事業譲受による支出243百万円により資金が減少したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は416百万円(前年同期は10百万円の支出)となりました。これは、長期借入れによる収入750百万円により資金が増加した一方で、長期借入金の返済による支出296百万円、配当金の支払額36百万円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間までの業績動向を踏まえ、2024年4月15日に公表いたしました2025年2月期の通期業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日(2024年10月15日)別途開示いたします「2025年2月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後、業績予想の修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,265,000	1,406,649
売掛金	221,657	257,969
商品	1,426,913	1,704,935
その他	105,743	151,605
流動資産合計	3,019,315	3,521,159
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	179,173	217,755
土地	392,159	392,159
その他(純額)	105,834	132,632
有形固定資産合計	677,167	742,547
無形固定資産	26,583	40,305
投資その他の資産		
投資有価証券	250,000	250,000
関係会社株式	12,000	27,676
差入保証金	294,623	360,462
その他	167,179	212,987
投資その他の資産合計	723,803	851,125
固定資産合計	1,427,555	1,633,978
資産合計	4,446,870	5,155,137
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,413	22,094
1年内返済予定の長期借入金	413,308	417,958
未払法人税等	80,151	71,541
賞与引当金	18,088	23,193
ポイント引当金	22,324	23,972
契約負債	14,828	18,893
その他	400,874	420,804
流動負債合計	966,989	998,458
固定負債		
長期借入金	574,315	1,022,859
退職給付引当金	46,400	48,300
資産除去債務	91,635	116,887
その他	16,231	82,269
固定負債合計	728,582	1,270,316
負債合計	1,695,571	2,268,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	49,004	58,763
資本剰余金	604,179	613,938
利益剰余金	2,098,224	2,213,769
自己株式	△109	△109
株主資本合計	2,751,299	2,886,362
純資産合計	2,751,299	2,886,362
負債純資産合計	4,446,870	5,155,137

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	3,217,911	3,501,806
売上原価	1,556,586	1,644,015
売上総利益	1,661,325	1,857,790
販売費及び一般管理費	1,436,918	1,664,691
営業利益	224,406	193,099
営業外収益		
受取利息	2,983	4,064
受取手数料	6,968	7,858
設備賃貸収入	10,360	16,492
その他	5,414	6,666
営業外収益合計	25,725	35,081
営業外費用		
支払利息	1,273	2,402
設備賃貸原価	10,286	13,246
為替差損	—	10,673
その他	283	1,258
営業外費用合計	11,843	27,580
経常利益	238,288	200,600
特別利益		
営業権譲渡益	—	23,525
特別利益合計	—	23,525
税引前中間純利益	238,288	224,125
法人税等	85,903	72,258
中間純利益	152,385	151,867

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	238,288	224,125
減価償却費	30,324	37,650
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,991	5,104
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,600	1,900
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,240	1,647
契約負債の増減額(△は減少)	1,558	1,773
受取利息及び受取配当金	△2,983	△4,064
営業権譲渡損益(△は益)	-	△23,525
支払利息	1,273	2,402
為替差損益(△は益)	-	10,673
売上債権の増減額(△は増加)	△29,432	△36,311
棚卸資産の増減額(△は増加)	△57,573	△105,639
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,639	4,681
未払金の増減額(△は減少)	△24,749	△3,026
その他	40,842	85,436
小計	198,741	202,827
利息及び配当金の受取額	2,593	4,339
利息の支払額	△1,293	△2,378
保険金の受取額	-	106
法人税等の支払額	△128,334	△80,868
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,707	124,027
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△150,000
有形固定資産の取得による支出	△25,900	△118,649
無形固定資産の取得による支出	△8,300	△13,768
子会社株式の取得による支出	-	△15,676
事業譲受による支出	-	△243,975
営業権譲渡による収入	-	44,871
差入保証金の差入による支出	△12,794	△8,789
差入保証金の返還による収入	400	3,589
保険積立金の積立による支出	△759	△2,867
その他	△63	△35,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,418	△540,538
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△181,338	△296,805
配当金の支払額	△28,947	△36,322
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,285	416,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	△8,711
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,003	△8,351
現金及び現金同等物の期首残高	1,019,280	1,265,000
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,033,284	1,256,649

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

項目	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

品目別販売実績

単位：千円

品目	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
ファッション	1,286,177	1,426,335
工具	589,445	683,371
ホビー	545,594	635,428
ブランド	364,087	360,955
トレカ	211,212	123,764
その他	221,393	271,949
合計	3,217,911	3,501,806

各品目の主な内容は以下のとおりです。

品目	主な内容
ファッション	一般衣料、靴、服飾雑貨品、腕時計等
工具	電動工具、エア工具、エンジン工具、油圧工具、ハンドツール等
ホビー	食玩、ジャパントイ(注)、各種フィギュア、プラモデル、ミニカー、モデルガン、楽器、スポーツ用品、釣具等
ブランド	ブランド商品(バッグ、時計を含む)、宝石、貴金属製品及び地金
トレカ	トレーディングカード等
その他	ゲームソフト、生活用品、携帯電話、家具、金券、酒、その他

(注) ジャパントイとは、日本のアニメキャラクター玩具や特撮ヒーロー玩具等、日本企画のおもちゃを総称したものであります。

(セグメント情報)

前中間会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

当社は、総合リユース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当中間会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

当社は、総合リユース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。